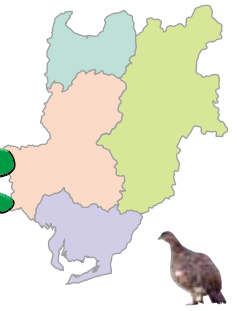




国民の森林・国有林

広報

# 中部の森林



中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5

☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>



飛騨署での高山パトロール実習

## 各署でインターンシップを実施

(P 3～5に関連記事)

主な項目	○ 新任幹部挨拶 .....	P 2
	○ カラマツ新緑写真コンテストについて (審査結果) .....	P 5～6
	○ 各地からのたより .....	P 6～8
	○ シリーズ「森林官からの便り」 .....	P 8～9
	○ シリーズ「ご当地自慢」 .....	P 10

新任幹部挨拶



計画保全部長  
すみ ひで 敏

この度、九月一日付けで計画保全部長を拝命しました角です。

珍しい苗字と思われるかもしれませんが、出身地である福岡県の八女地方(お茶の産地です)では割とありふれた苗字です。林野庁では、北国の経験が多く、旭川支局、秋田局、北海道局そして中部局で勤務しています。

私の場合は、同じ業務を複数回経験するということが多く、森林計画業務が二回、森林レクリエーションなどの森林総合利用業務が二回、民有林の行政手段の一つである制度金融業務が三回、北海道の旭川での勤務が二回あります。

P D C A サイクルは、計画(plan)、実行(do)、評価(check)、改善(adjust)のプロセスを順に実施し、最後の act から、次回の plan に結び付けることによって、業務活動を推進するマネジメント手法ですが、私の場合は同じ業務を二回(場合によっては三回)経験することで、P D C A サイクルを実感することができました。

具体的には、かつて自分が係わった制度金融が、利用者ニーズを反映し改善され、より利用しやすくなったとか、逆に、当時はかなり苦労して関係者に説明し、ようやく作った事業や制度が、たぶん評価が芳しくなく、いつの間にか消えてしまっていたとか、自分が携わった業務のその後について、自ら検証する機会を得ることができました。

中部局での勤務は、四年ぶりで、二回目となります。

当時、国有林は一部独立行政法人化の議論がなされていましたが、今年の春に組織すべてが一般会計化され、当時からすると想像ができなかった姿になりました。また、公益重視の管理経営を一層推進し、森林・林業再生、地域振興をはじめとした各般の政策実現のための事業・組織として新たなスタートを切ることになりました。

四年前は、森林計画業務に携わっていましたが、その時樹立された森林計画はどのように実行され、どのような評価を受けたのでしょうか。また、一般会計化を受けて、当時は考えも及ばなかったような改善点などもあるのではないのでしょうか。これから、現場を見せていただき、また色々と教えていただきながら、職員の皆さんと一緒に計画保全の業務を進めていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

◆角計画保全部長の略歴

生年月日 昭和三十五年四月二十二日

本籍 福岡県

略歴 九州大学大学院農学研究科卒

(S61・3)

昭61・4 林野庁厚生課に採用後、旭川

局富良野署、計画課、経済局

統計情報部農林統計課、流通

統計課、林野庁林政部企画課

を経て

平6・8 秋田管林局眞室川署長

〳8・8 農林漁業金融公庫融資第二部

調査役

〳11・4 林野庁業務課課長補佐(国有

林総合利用企画班担当)

〳12・8 林野庁木材流通課課長補佐

(安定供給班担当)

〳13・1 林野庁木材課課長補佐(需供

情報班担当)

〳14・8 林野庁研究普及課課長補佐

(研究班担当)

〳16・4 林野庁企画課課長補佐(金融

班担当)

〳19・4 中部森林管理局計画課長

〳21・9 林野庁業務課国有林野総合利

用推進室長

〳24・4 北海道森林管理局上川中部森

林管理署長

〳25・9 中部森林管理局計画保全部長

お世話になりました

前計画保全部長 宿利 一弥

このたび、九月一日付けで東北森林管理局管内の青森森林管理署に異動することとなりました。二年三月あまりの間でありましたが、皆様には大変にお世話になりました。

立山連峰はじめ日本アルプスから太平洋側の低山帯まで、変化に富んだ自然環境を有し、また多様な歴史的・文化的背景の下、観光地、温泉地も多い中部局管内には、他地域では見られない木曾ヒノキや本場のカラマツ、段戸国有林のように特色ある森林資源にも恵まれ、こうした伝統ある職場で仕事できたことは貴重な経験としてありがたく、また楽しく過ごさせていただいたことは皆様のおかげと感謝しております。

着任は東日本大震災、長野県北部地震の直後の一昨年の五月でしたが、准フォレストラー研修が開始されるとともに森林法の改正、森林・林業基本計画の改定など、森林・林業の再生に向けて林政の転換・再構築が始まっております。中部局においても、各署等で実施されてきた低コスト作業システムの現地検討会のほか、列状間伐や鳥獣被害に関する講演会など、折から国際森林年でもあり、外部の方々も交えた各種行事が企画、展開されたところでした。また、共同施業団地

の設定拡大をはじめ保護林の新設や二ホンジカ被害対策等も局・署関係者の協力の下で推進できました。

今さらながら、もつとこうすれば良かったなどの反省のみならず、正直申してやり残したことも多々あり、自らの至らなさを痛感するとともに、後ろ髪を引かれる（もとより前髪はない）気持ちがあります。

一般会計で運営される国有林には、公益的機能の一層の發揮と森林・林業の再生、木材・木質資源の利用拡大への貢献が強く期待され、これまで私たちが事業実施を通じて蓄積してきた知識や経験、技術力を組織的に展開していくことが極めて重要ですが、これらのベースとして一番大切なことは、地元の住民や国民の皆さんと対話ができ、私たちを理解いただき、地域から信頼される存在となることだと考えます。

今後将来にわたり、中部森林管理局と管内署等がその活動・事業展開を通じて地域から信頼され、さらに地域の林業をリードし、事業者の育成や、再生産が可能なる木材・木質資源の供給利用の拡大に貢献され、国有林全体を先導する存在となることを期待しますとともに、職員の皆様の益々のご健勝とご多幸を心から念願しまして、お別れの挨拶とさせていただきます。

本当にお世話になりました。ありがとうございました。

## 中部局インターンシップを各署で実施

〔研修所〕学生が中部森林管理局の実際の行政実務に接することにより、学生の学習意欲を喚起し、高い職業意識を育成するとともに、国有林野事業及び林野行政に対する理解を深めてもらうことを目的として、平成二十五年度中部森林管理局におけるインターンシップを七月二十九日から九月十三日の間、富山署、中信署、南信署、木曾署、飛騨署、愛知所の6署で、京都大学、東海大学、東京農工大学、明治大学、長野県林業大学の五校から、学生十六名を受け入れ実施しました。

### 多様な業務を体験

〔愛知所〕愛知森林管理事務所では、八月十九日から二十三日までの五日間、東京農工大学森林総合科学科の男性二名と京都大学農学研究科の女性一名を受け入れ、現場業務を主体にした就業体験を行いました。

体験の内容は、段戸国有林において①治山事業請負工事の監督業務補助及び治山ガードの歩道測量、②小学生を対象とした森林教室（自然観察案内）での講師体験、③森林環境保全整備事業（保育

間伐活用型）の請負事業地で監督業務の補助等を行いました。

また、森林官の業務補助として豊橋国有林での④収穫調査（標準地プロットの設定から野帳入力まで）を実施したほか、⑤プレカット工場、三河材流通加工センター、サテライト名倉の見学も日程内に加え、様々な業務を体験できるよう取り組みました。



現地視察の様子

今回の三名は、それぞれが政策、植生、森林管理といった観点から都市近郊林に興味を持って参加してきたことから、職員の説明にも熱心にメモする姿が見られました。

最終日の感想では「アツという間だったが、多様な業務を具体的に体験でき収穫が多かった」、「林業に対する国のアプ

ローチが理解できた」、「進路として考えたい」との話があり、所長からの「この体験を将来に役立ててほしい」との言葉で全日程を終了しました。



小学生への森林教室

### 新鮮！「国有林野事業」を体感

〔飛騨署〕飛騨署では、大学生向けのインターンシップを九月二日から六日までの五日間で行いました。

今回は明治大学、東京農工大学の三年生、二名を受け入れました。

五日間のカリキュラムには、植物群落保護林・巨樹巨木の現場見学と高山パトロール等の実習体験を組み込みました。学生達は、夏休みを利用しインターン

シップに参加しており、将来の自分探しを模索している段階で、彼らの中には教員免許を取得し、教員と国家公務員などを視野に入れ、この「国有林」を就業体験の場にした学生もいました。

天候が台風の影響でほとんどが雨模様での最悪のコンディションでありながらも、現在実行中の高性能林業機械による森林整備の様子や山間奥地での治山工事の現場、保護林などの視察や境界巡検でのコンパスを使った不明標発見、間伐調査では標準地のプロット設定から、間伐木の選定・収量比数（RY）・形状比（H/D）・樹冠長率・相対間距比（Sr）などで森林の混み具合を判定し、適



境界巡検実習

正な間伐方法を検討するなど懸命に挑戦していました。こうした体験は、農学部といえども学生達には新鮮であったようです。

また、最終日の乗鞍国有林での高山パトロールでは今までの天候が嘘のように晴れわたり、森林官・グリーンサポータースタッフとともに高山植物保護のための啓蒙活動を行いました。

学生達は、職業選択という重要な時期に、このインターシップで何かを模索し、参加したのだと思いますが、お別れの言葉では、「また来ます」と元氣な返事が返ってきたことで、指導者としては少々安堵したところです。

私たちのアプローチがどれだけ、彼ら



共同施業団地視察



間伐調査実習

の「自分探し」のツボにヒットしたかは定かではありませんが、少しでも役立てたなら幸いと感じました。

帰り際の学生達の背中を見て、彼らの羅針盤は、方向を見定め始めているように感じました。

### 富山署での インターシップを終えて

京都大学 藤井創一朗

九月九日から十三日までの五日間、富山森林管理署にてインターシップ生として過ごさせていただきました。富山は北アルプスなどの高山を有し、そのため

山地災害や洪水の被害が昔から多い土地です。

富山森林管理署では特に治山に力を入れており、インターン中もそういった治山工事の現場にいくつか連れて行っていただきました。いまにも崩れそうで非常に急な斜面での山腹工や、傾斜が強く流れの速い沢での谷止工など、実際に現場に行ってみるとそうした治山工事の必要性を実感できます。また、立山周辺の高山地域の保護林や、都市近郊の防風林などにも連れて行っていただき、国有林の様々な機能についても知ることができました。

インターン中は職員の方々がつきつきりて指導、説明をしてくださり、ちよつとした疑問でもすぐに解決でき非常に有



治山現場を上部から視察

意義なものとなりました。将来の進路を考える上でも、今回のインターンシップに参加して本当に良かったと思っております。忙しい中時間を割いていただきありがとうございます。

京都大学 三井崇史

この度富山森林管理署のインターンシップを希望した動機は、国有林の管理が行われている実際の現場を自らの目で見る経験が必要と考えたためです。木材資源の持続的利用や里山の管理の在りかたについては、本や講義で学んだことをきっかけに関心を持つようになりました。しかし、本や講義で物事の概観を学



治山現場を下部から視察

んでも実際の現場の現実を知らなければ十分な理解とは言えないため、今回実際に現場へ足を運べる機会を得られたことは大きな収穫でした。現場を知りたいという当初の希望通り、五日間のインターンシップでは谷止

### カラマツ新緑写真コンテスト について(審査結果)

【企画調整課】昨年度のカラマツ黄葉写真コンテストに引き続き、信州の春風景になくはならないカラマツの新緑について、カラマツを木材資源としてだけではなく、観光資源としても評価していただくため、長野林政協議会（中部森林管理局と長野県林務部の間で設置している協議会）により「カラマツ新緑写真コンテスト」を実施しました。

長野県内をはじめ、遠くは奈良県の方からも応募があり、応募作品数は百八点となりました。厳正な審査を経て入賞作品が決定しましたのでご紹介します。

なお、入賞作品及び応募作品については、長野県の観光PRにも資するため、長野県内をはじめ首都圏での写真パネルの展示や、観光パンフレット等への掲載等、広く活用を検討していくこととしていきます。

工や治山工事等の様々な現場に同行させていただき、その様子を視察・見学しました。特に災害予防のための治山事業については今まで学んだことが無かったため、理解を深める良いきっかけになったと思います。

#### 一 入賞作品

- |                  |           |          |              |
|------------------|-----------|----------|--------------|
| 最優秀賞（長野林政協議会会長賞） | 優秀賞       | 古屋 治     | 「萌える森」       |
| 齊藤 毅             | 「春の輝き」    | 優秀賞      | 星野吉晴         |
| 井出利久             | 「八千穂高原春景」 | 優秀賞      | 「桜にカラマツの芽吹き」 |
| 優秀賞              | 岩下 直      | 「カラマツ並木」 | 優秀賞          |
|                  |           |          | 盛 壮司         |
|                  |           |          | 「緑風の中の青春」    |

#### 二 入賞作品の紹介

◆最優秀賞は、齊藤毅さんが長野県塩尻市奈良井で撮影した「春の輝き」



入賞作品は、中部森林管理局ホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。



◆優秀賞の古屋治さんが  
長野県小海町で撮影した  
「萌える森」



◆優秀賞の井出利久さんが  
長野県佐久穂町で撮影した  
「八千穂高原春景」



◆優秀賞の星野吉晴さんが  
長野県茅野市で撮影した  
「桜にカラマツの芽吹き」



◆優秀賞の盛壮司さんが  
長野県松本市で撮影した  
「緑風の中の青春」



◆優秀賞の岩下直さんが  
長野県南牧村で撮影した  
「カラマツ並木」

## 各地からのたより

### 「戸隠森林植物園」オフィシャル サポーター協定を締結

【北信署】オフィシャルサポーターは、国有林内の「レクリエーションの森」に係る協議会が行う環境美化活動や管理・整備等に参加したり、資金、資材を提供する企業・団体です。

「戸隠森林植物園」では平成二十三年三月に戸隠森林植物園保護管理協議会と一般財団法人日本森林林業振興会長野支部がオフィシャルサポーターの協定を締結して活動を実施してきました。

オフィシャルサポーターの支援内容としては、毎年資材として角材等三百本、グリーンロープ六巻の提供や、小鳥の巣箱掃除やグリーンロープ張り、木道清掃活動等の作業を実施してきました。

今回、協定期間が切れることから六月



協定を締結した森田支部長と徳武会長

末日に一般財団法人日本森林林業振興会長野支部と、オフィシャルサポーターの協定期間の更新締結を行い、戸隠森林植物園の維持管理と資材を提供することとしています。

戸隠森林植物園保護管理協議会会長徳武洋友さんは「森林植物園に來園された方々に、感動してもらえようという散策をしていただけるよう、提供していただいた資材を有効に活用してまいります。」とコメントしています。

当署としましては、戸隠はパワースポットとして人気のある観光地であり、戸隠森林植物園も魅力のあるレクリエーションの森を目指して協定者双方と協力と連携して活動していくこととしています。

### 南木曾町との行政懇談会を開催

【南木曾支署】九月五日、南木曾町と当支署との行政懇談会を開催しました。

当日は、南木曾町長はじめ南木曾町関係者十二名、当支署から支署長外九名が参加しての会議となりました。

会議に当たり、まず南木曾町有林で今年度実施している林業専用道の新設工事箇所の現地視察を行いました。工事箇所では総括森林整備官から当該林業専用道新設工事の全体計画等の概要の説明を行いました。南木曾町からは工事支障木の搬



林業専用道新設箇所の現地視察

出方法等に対する質問があり、特に法面緑化として地場産木材を再利用した「伐採木堆肥入植生基材マット」についての多くの質問等がありました。

その後、場所を南木曾会館に移し、双方から事業・業務の概要説明後、要望事項を個別具体的に説明し、回答していく方法で意見交換等を行いました。

南木曾町からは、度重なる集中豪雨災害に見舞われた歴史等を踏まえ、災害に強い山作り、とりわけ治山事業の計画的かつ継続的な実施と、生活に密着する併用林道の改良工事の整備やマツクイムシ、カシノナガクイムシ対策及びニホンジカ捕獲事業への協力等について要望が出されました。

これに対して当支署は、町からの要望は地域別住民懇談会を通じた住民の皆さん

の意見であると認識し、引き続き地域の皆さんの安全・安心のため森林整備や治山事業の計画的な実施、病害虫被害に対する情報共有や捕獲事業へのワナの貸出の協力等を伝えるとともに、林業専用道の新設工事や治山工事に係る協力要請を行うなど実りある懇談会となりました。

当支署としては、このような懇談会等の機会を活用する中で、地域の声を聞くなど引き続き地域から信頼される国有林として森林・林業の再生や地域振興といった政策実現のために取り組んでいくこととしています。

### 軽井沢町西地区の国有林において

#### ボランティアによる

#### 「藪刈り作業」を実施

〔東信署〕 九月七日（土）、人間の生活



ボランティアの方々



作業の様子

エリアと野生動物の潜みやすい藪との間に、野生動物が苦手とする幅広く見通しの良い緩衝帯を設け、野生動物とのバッタリ遭遇の防止やゴミのポイ捨て、不法投棄の防止等、地域住民や子どもたちにとって、安全・安心な里山をつくることを目的に、地域住民が主役となった取組の一環として、軽井沢西地区国有林藪刈り実行委員会主催による「浅間山麓軽井沢西地区国有林藪刈り作業」が、軽井沢町追分の一〇〇〇メートル林道沿いの浅間山国有林内において開催されました。

当日は、軽井沢町から町議会議員をはじめ役員職員、地元西地区住民や町商工会、地元小学校PTAや軽井沢高校の生徒、また東京の成城大学の学生など、町

内外の方々に加え、長野国有林森林整備協会東信支部や桐生林業の関係者もボランティアで参加するなど、地元と都会の大学生、森林整備のプロという様々な立場の方々約百三十名が参加し、林内の藪の刈払い作業や倒木の運搬・除去・集積作業に従事しました。

作業場所に接している一〇〇〇メートル林道は近隣の西部小学校の児童の皆さんの通学路であり、また地元住民を中心に多くの方が利用していますが、例年クマの目撃情報もあり、参加された方々の多くが「藪刈り作業」の意義や重要性について十分に理解を深めるとともに、参加者同士が協力しながら作業を行いました。

この作業により、予定したエリアは見



作業完了後の林内

通しの良い林となり、参加者全員で達成感を味わいつつ、この活動を今後も継続していくことを皆で確認し、作業を無事終了しました。

### 民有林の補助金制度に関する 職場内研修を開催

〔南木曽支署〕平成二十五年八月二十七日、当支署において職員を対象に「民有林の補助金制度」に関する職場内研修を木曽地方事務所的林業普及指導職員を講師に招き開催しました。

当日は、まず始めに支署長から中部局における民有林支援・連携体制等に関する説明を行った後、林業普及指導職員か



研修の様子

ら主に森林整備事業に関する補助金制度の講義を受講しました。

講義内容は、①各補助事業の趣旨、内容、支援対象者及び支援の条件、②補助金の算出方法、③補助金の交付要件である森林経営計画樹立までの流れ等について、実際に担当してきた経験談や事例を交えながらそれぞれのポイントについてわかりやすく説明していただきました。  
また、民有林の集約化に対し、国有林に期待することや課題等も併せて聞くことができました。

### きこり三樹士たちの名前が決定

#### 〔企画調整課・技術普及課〕

七月三十一日に開催した中部局の一般開放イベント「夏休み子どもふれあいデー」において、地域の子どもたちに森林や林業に対する興味を深めてもらうきっかけとして、キャラクター三体を創作し、名前の募集を行いました。メールでの応募、当日の応募を合わせ百二十一点もの名前が集まり、選考を重ねた結果、次の通り決定しました。

今後、きこり三樹士にはホームページやイベントにおいて子どもたちを森林・林業の世界へ誘う案内役として活躍してもらおう予定です。



ひーのん



カラマッキー



スーギー



#### 〔岐阜署 白鳥森林事務所〕

#### 内藤治夫 地域統括森林官

白鳥森林事務所は、岐阜県奥美濃の郡上市白鳥町に所在します。管轄は、北に大日ヶ岳、東に鷲ヶ岳を望み、町の南北を清流「長良川」が貫流しています。郡上市は、自然と白山信仰ゆかりの史跡が点在し、鎌倉、室町時代の栄華を偲ぶこ



八幡城から望む東殿山（とうどうやま）国有林

とができ、越前、飛騨、美農への交通の要衝でもあります。また、当地は、「郡上おどり」と並び「白鳥おどり」も有名です。

管轄する国有林は、前谷大日国有林ほか六団地、面積は約一千三百ヘクタール。公有林野等官行造林地は郡上市（旧西和良財産区管理会）ほか十団地、面積は約一千ヘクタールです。

当事務所職員は、森林官一名、森林技術員一名、非常勤職員一名の三名で、森林育成作業の調査、境界巡検、林道維持修繕、貸付地の確認作業のほか、雨天時、冬季には丸太や板材を加工して歩道及び林道の標識、案内標識の製作を行い、国有林に設置するなど多岐にわたる





作製した林道標柱

業務を行っています。

郡上市では平成二十二年度に鳥獣被害対策防止協議会が設立され、これを支援する機関として当事務所も参加しています。郡上市は、面積の約九割が森林で占める中間地域で、ニホンジカ、イノシシ、サル等の個体数の増加と狩猟者の減少で、年々被害額が増加傾向でしたが、対策が実施されて平成二十四年度は減少傾向に転じています。

管理する国有林では、イノシシが林道路肩を掘削したり、幼齢造林地内でも点々と掘削をしており、本数は少ないものの造林木の転倒も見受けられます。また、保安林管理車道の簡易法砕工の下部金網を所々跳ね上げて破損させているこ

とに苦慮しています。

地域によってはニホンジカの被害を多く耳にしますが、幼齢造林地の多い鮎立中山国有林(郡上市高鷲町)では天然記念物のニホンカモシカが生息しており、ヒノキ造林地の林縁部を食害しているのが見受けられます。林縁部は保残帯に接しており生長が遅いので、食害されやすいのではないかと考えています。

また、ニホンカモシカは林道法面上部より林道を通過することもあり、落石や衝突しないように注意して林道を走行しています。



休憩小屋前のニホンカモシカ

郡上市北部は多雪地帯で、白鳥町、高鷲町、明宝町にはスキー場が数多くあります。一九八一年の五六豪雪では白鳥町

で二・四メートルの積雪を記録。平成二十三年度は本署から応援していただき雪下ろしを実施しました。猛暑の夏は、その反動で多雪の傾向があり今年の異常な暑さを考えると心配です。  
私は今年度で定年を迎えます。事業実行に当たっては、関係者と意思疎通をし、公私ともになんでも話し合える職場づくりをめざし、無事故で業務遂行ができるよう頑張っています。



執務中の内藤地域統括森林官

# 人のうごき

## 林野庁人事(抄)

八月三十一日付

▽退職(中部局岐阜森林管理署長)

長口 深

## 林野庁人事(抄)

九月一日付

▽中部森林管理局計画保全部長

角 秀敏

▽中部森林管理局岐阜森林管理署長

森川 誠道

▽中部森林管理局富山森林管理署長

加藤 昭広

▽中部森林管理局東濃森林管理署長

間島 重道

▽東北森林管理局青森森林管理署長

宿利 一弥

▽関東森林管理局静岡森林管理署長

枝澤 修

## 行事・会議等の予定

◎NPOボランティア連携推進会議

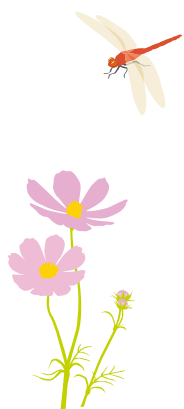
10月4～5日 塩尻市

◎林道現地検討会

10月7～9日 飛騨署管内

◎治山現地検討会

10月29～31日 南信署管内





北アルプス北部 (手前は白馬岳頂上宿舎)

◆北アルプスの山々

日本の屋根といわれる北アルプスの山々は古くから夏は登山、冬はスキーで日本でも有名な山岳観光地であり、観光施設(宿泊温泉施設・交通機関)も整備され、どなたでも気軽に訪れることができます。



北アルプス屈指の花の山

◆白馬周辺のお花畑

今年は夏のイベントとして七月一日から八月末日まで村全体がお花畑になる「白馬アルプス花三昧」が白馬山麓及び白馬・小谷地区の各植物園・自然園で開催され、大いに賑いました。

近年においては、中高年登山や山ガールなどの若い世代に加え、海外からの観光登山者も含めた多くのみなさまに登山を楽しんでいただいております。  
一方、無謀なスケジュールでの登山や写真撮影でのお花畑への踏み込み、ペットの連れ込み、ストックで登山道を傷めるなど、問題も発生しております。  
また、ニホンジカやサル等の野生鳥獣による高山帯への目撃・被害も報告されておりあります。

このような問題を解決するため、地域の自治体や山小屋、高山植物等保護対策協議会と連携した保護啓発活動を行っております。



貴重な白色の「コマクサ」

それぞれ特色があり、ゴンドラやテレキャビンを利用して、空中散歩を楽しみながらファミリーや初心者でも無理なく山岳ハイキングが楽しめるコースや、また、本格的な装備で挑めば、険しい山麓からは想像もつかない、優しい景色が続きます、そこには限られた期間だけ見ることのできる絶景が、雪が解けて一斉に咲き出した花の色彩にあまりに現実とかけ離れた天国のような光景にしばしばうぜんとなります。

一シーズンでは、回りきれないほどのスケールで北アルプス一帯に咲き誇る高山植物と山野草、この可憐な花との出会いを求めて多くの登山者がこの地を訪れます。

天候も八月に入ると晴天が続き、夏空を駆け抜ける真っ白な雲と、その空に近づくかのように一面に広がるお花畑が迎えました。

◆北アルプスの懐

個性あふれる源泉があり、標高二、

白馬小谷は天然温泉の宝庫。



登山以外でも楽しめます。(バギー)

一〇〇mの天空の露天風呂や車で気軽に立ち寄れる温泉、ホテル内の絶景風呂なども多く、贅沢なひとときを過ごせます。

また、森・水・空で遊ぶ、カヌーやラフティング、ヘルメットとハーネスを装着して行う地上八mの空中アスレチック、エンジンバギー、パラグライダー、MTBなど、自然と触れ合える体験が出来る施設も沢山あり、登山以外も楽しめます。

◆アクセス方法

「公共交通機関」

JR大糸線白馬駅下車

JR大糸線小谷駅下車

「自家用車」

中央自動車道安曇野IC(国道

一四八号大町市経由で約一時間

長野市(オリンピック道路経由で約

一時間